

滝川市流域関連公共下水道の 事業再評価について

滝川市建設部土木課

事業概要

○事業名：流域関連公共下水道事業

○処理区名：中部処理区

○事業着手年度：昭和44年度

○完了見込み年度：平成30年度

単位：百万円

種類	全体事業費	H19年度まで 実施済み事業費	残事業費
管渠(汚水)	25,050	16,567	8,483
管渠(雨水)	36,750	16,902	19,848
合 計	61,800	33,469	28,331

滝川市流域関連公共下水道 中部処理区の概要

事業費	当初全体計画 61,800 百万円	現行認可計画 34,517 百万円	
項 目	当初全体計画	現行認可計画	整備状況
処理区域面積	2,230 ha	1,664 ha	1,388 ha
処理人口	39,500 人	40,900 人	41,428 人
管渠延長	825,550 m	654,520 m	448,507 m

滝川市流域関連公共下水道 の運営状況

◇水洗化率	:	96%（平成19年度末現在）
◇使用料(家事用20m ³)	:	3,845 円 (192.25 円／m ³)
◇受益者負担金	:	480 円／m ² （第4～7負担区）
◇受益者分担金	:	480 円／m ² （第1・2分担区）

年度別便益費の考え方

効果項目	評価対象	評価手法
生活環境の改善効果	下水道整備による 悪臭の解消	水路の覆蓋費用 水路の清掃費用
便所の水洗化効果	住環境の改善	浄化槽の設置費用 浄化槽の維持管理費用 浄化槽の汚泥処理処分費用 浄化槽の敷設占有費用
合流式下水道の 改善効果	夾雑物等の 流出抑制効果	管路の清掃費用

費用効果分析結果

現在価値比較法によるB／C(費用対効果)

$$\begin{aligned}\square B/C &= 155,084 \div 114,156 \text{ (百万円)} \\ &= 1.36\end{aligned}$$

□効果 (B) 155,084 (百万円)

- ・ 生活環境の改善(次頁※1参照) : 53,647 (百万円)
- ・ 便所の水洗化(次頁※2参照) : 90,646 (百万円)
- ・ 合流式下水道の改善効果
(次頁※3参照) : 10,791 (百万円)

□費用 (C) 114,156 (百万円)

- ・ 事業費(次頁※4参照) : 104,174 (百万円)
- ・ 維持管理費(次頁※5参照) : 9,982 (百万円)

今後の方針

☆ 本市の中部処理区では、公共下水道の費用対効果(B／C)が1.36となり、事業実施の効果が確認された。

☆ このため、本市では当該事業を今後も継続して実施していきたい。

※1 生活環境の改善

下水道事業が実施されない場合必要となる「中小水路の覆蓋費用」及び「水路底部の清掃費用」をもって代替する。

※2 便所の水洗化

下水道事業が実施されない場合必要となる「浄化槽の設置・維持管理費用等」及び浄化槽汚泥を処理するために必要な「浄化槽汚泥処理施設の建設・維持管理費用等」をもって代替する。

※3 合流式下水道の改善効果

合流式下水道を改善しない場合に、合流改善事業と同等の効果を得るために必要となる予防措置にかかる費用をもって代替する。

※4 事業費

管渠・ポンプ場の整備費及び流域下水道の配分事業費を合算したもの。

※5 維持管理費

公共下水道と流域下水道（滝川市負担分）の維持管理費を合算したもの。